



いいで町

190号

# 議会だより

ゲストランナーを迎え  
新緑の中を駆け抜ける



ゲストランナー  
いわで れいあ  
岩出 玲亜さん  
デンソーフリートセローズ所属



## 第41回 全国白川ダム湖畔マラソン大会

### 6月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

6月定例会	米坂線早期復旧を決議	.....	P2~3
第三セクター	決算報告	.....	P4~5
一般質問	6名の議員が町政を問う	.....	P6~12
総務文教・産業厚生	常任委員会	.....	P13~14
<b>特集</b>	飯豊電池バレー構想に関する 特別委員会報告	.....	P15
町議会	の4年間を振り返る	.....	P16

# (補正予算総額 2億4,234万4千円を増額)

## 3,860万円、道路橋梁災害復旧費 3,920万円ほか

### 一般会計補正予算の主な歳入と歳出

#### (主な歳入)

●災害復旧費分担金	3,701万円
●国庫負担金・補助金	5,063万円
●県負担金・補助金	1,634万円
●繰入金	1億3,670万円
●繰越金・諸収入	166万円

#### (主な歳出)

●人事異動に伴う人件費ほか	4,701万円
●障がい者自立支援事業	2,378万円
●物価高騰対策事業等	2,303万円
●子育て世帯生活支援特別給付金事業	425万円
●認定こども園施設修繕事業	305万円
●新型コロナウイルス感染症対策事業	1,845万円
●廃棄物処理事業	2,177万円
●畜産振興事業	380万円
●被災農地支援補助事業	600万円
●消雪設備改修事業	400万円
●消防団の力向上モデル事業	325万円
●消防施設等整備事業	535万円
●スクールバス運行管理事業	80万円
●農地等災害復旧事業	3,860万円
●道路橋梁災害復旧事業	3,920万円

### 特別会計補正予算の概要

水道事業会計を除く6つの特別会計の補正予算の主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費の当初予算との比較増減でありました。

水道事業会計については、昨年8月の豪雨災害による小白川浄水場のろ過設備改修工事等に伴う経費として、3,066万円増の補正予算となりました。

### 概要

令和5年第4回定例会は、6月15日から23日までの9日間開催されました。6名の議員が一般質問に立ち、2日間にわたり町政を問いました。議案審議では、一般会計、各特別会計及び水道事業会計の補正予算8件を審議し、原案のとおり可決しました。また、土地開発公社及び第三セクターの決算（4～5ページ参照）、平成4年度一般会計及び下水道事業特別会計の繰越明許費繰越計算など7件の報告を受けました。最終日に、一般会計補正予算（小規模住宅リフォーム事業）及び工事請負契約の一部変更について、原案のとおり可決しました。また、請願1件を採択、米坂線の早期復旧に取り組み決議を可決後、任期満了に伴う、農業委員会委員10名の任命に同意しました。「飯豊電池バレー構想」に関し、特別委員会委員長報告（15ページ参照）がありました。





# 豪雨災害関連の補正予算を可決

## (災害廃棄物の収集運搬費 2,177万円、農地災害復旧費

### 採択された請願の内容

#### ◆食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願

食料・農業・農村基本法の見直しにおいて、農村・農業振興の観点から「多様な担い手」を法に位置付けること、並びに直接支払交付金の見直しだけでなく、経営所得安定対策や新たな直接支払制度の導入を含め施策全般の見直しを請願 ↓国に意見書提出

### 米坂線の早期復旧に取り組み決議の内容

◆令和4年8月3日の豪雨で被災した米坂線の1日も早い復旧に向け、国、JR東日本等関係機関への要望活動を継続するとともに、地域住民と共に、沿線の地域活性化及び利用促進のため行動する。

### 工事請負契約の一部変更の内容

◆飯豊町民総合センター大規模改修工事(債務負担行為)の変更契約内容は、全熱交換器及びステージ操作機材の更新等による請負契約金額の変更(1千675万5200円の増)

### 新たに任命された農業委員会委員(敬称略)

- にへい ゆきひろ (小白川・再任)  
二瓶 幸浩
- まきざか ふじひろ (手ノ子・新任)  
巻坂 藤博
- ながおか けんいち (中・新任)  
長岡 賢市
- わたなべ ゆみこ (黒沢・新任)  
渡部由美子
- さいとう ゆういち (椿・新任)  
齋藤 祐一
- あべ かずゆき (小屋・再任)  
安部 数幸
- てづか やすひろ (萩生・新任)  
手塚 康博
- えんどう ともゆき (添川・新任)  
遠藤 智行
- わたなべ あきこ (中・新任)  
渡部 晃子
- ごとう えみこ (萩生・新任)  
後藤 恵美子

### 第3回臨時会の概要(5月16日開催)

#### ◎条例の一部改正

- 町税条例の一部を改正する条例  
↓個人及び法人に対する町民税、軽自動車税及びたばこ税の一部改正
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例  
↓課税限度額の引き上げ等

#### ◎一般会計補正予算の専決処分

令和4年度決算に向けた歳入歳出の清算による補正予算並びに令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する補正予算の専決処分の2件を承認

#### ◎一般会計補正予算

デジタル田園都市国家構想交付金、スポーツ振興基金及び前年度繰越金を歳入として、窓口サービスのデジタル化及び手ノ子スキー場のシユレップリフト改修事業に歳入歳出それぞれ総額5千242万9千円を増額補正

#### ◎工事請負契約の締結

- 令和4年災 農地災害復旧工事(高野)  
6千380万円 樋口建設(株)
- 令和4年災 農地等災害復旧工事(小白川)  
6千820万円 豊川建設(株)

## 令和4年度

# 土地開発公社 第3セクター 決算報告

令和4年度の土地開発公社事業及び第3セクター4社の決算が報告されました。新型コロナウイルスによる外出制限の解除はあったものの、世界情勢による物価高騰で材料費や水道光熱費の増額などで、厳しい経営環境であった。このため第3セクター4社のうち有限会社どんでん平ゆり園を除く3社が赤字決算となった。

また、事業概況を決算報告書より抜粋し記載していますので、ご覧ください。

## 飯豊町地域振興公社（白川荘・しらさぎ荘）



単位：万円

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	2億0308	2億1756	2億6860
売上原価	4574	5241	7462
販売費及び一般管理費	2億0033	2億1296	2億3799
当期収益	▲433	▲4027	▲3381
繰越損益	▲7576	▲1億1603	▲1億4984

### 〈事業概況〉

令和4年度の売上は回復の兆しがあったものの、第7～8波のコロナ感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻や8月の豪雨、冬期間の大規模停電、雪崩による被害を受けた。又、全国旅行支援や町の飲食店利用促進支援・燃料高騰による補助を受けながら、社員一丸となって事業に取り組んだが、最終的には3381万円の赤字が増えた。

## 有限会社エルベ

単位：万円

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	2737	2834	2857
売上原価	896	846	922
販売費及び一般管理費	2344	2360	2378
当期収益	▲37	▲44	▲248
繰越損益	▲1400	▲1444	▲1692



### 〈事業概況〉

8月の豪雨災害やウクライナ情勢による小麦や乳製品などの原材料の価格高騰などで、大きく売上を伸ばすことができなかった。販売費及び一般管理費についても、人件費は減少したものの、水道光熱費の増により約18万円増加した。宴会などを伴うイベントに取り組んできたが最終的に248万円の赤字が増えた。

## 飯豊めざみの里株式会社

単位：万円

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	4億4375	4億7296	6億6388
売上原価	3億1129	3億2535	4億3180
販売費及び一般管理費	1億9574	1億8845	2億4167
当期収益	▲3307	▲1736	▲833
繰越損益	▲1454	▲3190	▲4023



### 〈事業概況〉

外出規制の解除により、トンネルの出口に光が見え、集客増を見込んで切れ間なく対策を講じてきたものの、8月3日の記録的な豪雨災害により、コンビニの浸水、泥水の流入による被害を受け復旧が急務となった。しかし、防災道の駅としての機能を果たすことができ、それがマスコミに取り上げられたことで、大きな反響があった。

下期は、台湾インバウンドの再開により、集客が増えたが最終的に833万円の赤字が増えた。

## 有限会社どんでん平ゆり園

単位：万円



科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	2385	3450	3588
売上原価	926	1017	976
販売費及び一般管理費	1870	2456	2604
当期収益	▲101	5	153
繰越損益	▲876	▲871	▲718

### 〈事業概況〉

ゆりまつり営業期間は6月11日～7月17日までの37日間でした。

開花は7月4日が最盛期となり、天候にも恵まれ7月15日までの12日間開花の最盛となった。6月の入込客数は対前年6月比21.2%減の5,220名で、7月は対前年7月比51.3%増の12,125名となり総売上額は対前年比110.4%となった。来年度以降へ来園者を繋ぐために、園の整備を継続した。

## 飯豊町土地開発公社

単位：万円

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
完成土地等売却収入	2139	385	556
完成土地等売却原価	2858	398	564
当期利益	▲744	▲378	13
繰越損益	2250	1872	1885



### 〈事業概況〉

漆川住宅団地の造成販売を行っている。今年度は1区画の販売となり15区画中4区画の販売となった。



# 一般質問 町政を問う

## 6人の議員が質問に立つ

氏名	質問事項	ページ
1. 議席番号5番 たかはし まさる 高橋 勝 議員	①一般質問の行方 ②町有施設の閉館。式典の在り方を問う	P7
2. 議席番号4番 えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員	①昨年8月豪雨で運休となったJR米坂線の復興と、町民生活や地域課題への対応について	P8
3. 議席番号3番 ふなやま まさお 舟山 政男 議員	①ダム道路ヘスノーシェットの設置について ②5月連休中の中津川地区民の通行確保について	P9
4. 議席番号2番 やしあ まさかず 屋嶋 雅一 議員	①高齢者に優しいまちづくりに更なる支援を	P10
5. 議席番号1番 かわさき ゆうじろう 川崎 祐次郎 議員	①幼児教育の重要性と教育環境整備の充実について ②高校におけるGIGAスクール構想の実現とその支援策について ③新潟山形南部連絡道路の整備と主要地方道とのアクセスについて	P11
6. 議席番号7番 たかはし きょういち 高橋 亨一 議員	①山間地の農地。復旧復興を進める対応は	P12

◎一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。  
また質問内容は、要約した記事となっています。



多くの方に傍聴いただきました

一般質問

# 一般質問の行方。まちづくりセンターの条例策定は 町長：現条例を改正し、事業・業務を明確にする



高橋 勝議員  
たかはし まさひろ

●一般質問の行方。「検討する」のその後は。

地区まちづくりセンターの新たな条例策定は

質問 現状では、「地区公民館と地区まちづくりセンター」を規定

した条例がそれぞれあることから、地域づくり活動を総合的に支援する施設として、一本化した条例が必要との認識で検討中。（令和3年9月定例会）と回答されている。その後の経過は。

現条例を改正し、事業や業務を明確に規定する

町長 今後、地区まちづくりセンターが本来の機能を果たすために、

現行の条例を改正し、センターとして担うべき事業や業務を明確に規定していく。

営笠づくりの担い手不足。具体的な支援策を

質問 町も担い手不足

が深刻であることは認識しており、中津川地区との連携を構築したいと考えている。今後、も伝統文化・産業として存続できるように、必要な支援を行いたいと考えている。（令和3年12月定例会）と答弁されている。その後の経過は。

引き続き生産者のお話を伺う

町長 担い手不足の状況に変わりはありません

なので、今後も引き続き生産者のお話を伺いながら、町としてできる支援を行う。

再質問 ①センターの

条例策定②営笠の支援策について、私から提案させていただきたいが、町の考えは。

①課題を整理し、今後のスケジュールを示すべきでは。

②早急に生産者に聞き取りを行っていただきたい。

町長 ①もう少しまち

づくりセンターの業務・運営内容を整理したい。現状の職員体制・財源についても課題がある。社会教育課長 ①今年度から、定例で担当者会を開催し、情報共有を行っている。②できるだけ早い時期に、生産者の方と話し合いの場を持たせていただく。

早期の条例策定を



●町有施設の閉館。式典の在り方を問う。

閉校式典の主催者は、また来年度のみらい館は

質問 添川児童センター

閉館式と記念行事は、実行委員会を結成し執行行われた。義務教育学校開学で、閉校になる学校の式典の主催者は。また現在、旧添川

児童センターで閉館中のこどもみらい館。あすの改修工事終了後には、元の場所に戻るのか。

式典と記念行事は別に

教育長 閉校式の主催は、町や教育委員会。閉校記念行事は、学校・保護者・地域で構成する実行委員会と考えている。

利用者の意見を参考に

教育長 利用者などの意見を参考に、来年度以降の設置場所を決めたい。町の方向性が出た時点で、地域にご相談させていただきたい。※他に、「豪雨災害からの復興へ。町内の賑わいを取り戻す方法は一次産業と観光で」を質問。

(本人執筆)

一般質問

# JR米坂線の早期復旧の活動を

## 町長：町民や民間団体の活動に期待



遠藤 芳昭 議員

### ● JR米坂線

#### 米坂線復旧にどう 取り組むのか

**質問** JRから今泉く坂町間の復旧に86億円と5年の期間を要するが、復旧工事着工の目途はたっていないとの発表があった。町長は米坂線復旧に今後どう取り組むのか。

#### 両県・沿線自治体 と連携し対応

**町長** 町にとってJRは無くしてはならない公共交通である。一日でも早い復旧の着手にむけ、山形、新潟両県と沿線自治体と連携しながら対応していきたい。

#### 若年層流出懸念 町の対応は

**質問** 米坂線の復興見通しがないと若い人が町を離れてしまうことが心配されている。何らかの対応が必要ではないか。

#### アンケート結果により 町も支援していきたい

**町長** 町内の高校生は179名で、そのうち40名が代行バスを利用している。中には代行バスに不便を感じ保護者が直接学校まで送迎している方もいる。今後JRでは代行バス輸送の課題や利便性向上のため利用者アンケートを実施すること。町も住民の移動

手段の確保のため、出来る支援は行いたい。

#### 復興にむけ住民運動を

**質問** 高校生だけでなく、高齢者の交通手段であり、新潟・山形間の交通にも大きな影響がある。特に観光産業には大きなダメージだと思つので、観光協会が事務局となつて復興運動を行つていくことが望ましいのでは。

#### 町民運動に期待

**町長** 米坂線整備促進期成同盟会が中心となつて行うべきかと思うが、町内の復興運動には大いに期待したい。



いつまで続くか  
JR代行バス輸送

### ● 樺地区の水害被害

#### 樺地区全域浸水 排水路の問題点

**質問** 昨年の8月豪雨では樺地区の町指定の避難所はじめ公共施設や老人保健施設も浸水した。

現在の八幡排水路では山からの水を呑みきれなかったため、地域においては白川への排水路を整備する要望書を町長に提出しているが、町は地域の要望にどのように対応していくのか。

#### 関係機関と協議

**町長** 下野地区の八幡排水路をふさいでいるコンクリート撤去は、東北農政局や白川土地改良区と協議している。白川への新たな排水路整備については町の重要事業として県や関係機関と協議する。



あ～す北側駐車場  
正面は福祉の里めざみ



溢れた八幡排水路



八幡排水路  
コンクリート堰の撤去を

(本人執筆)



一般質問

# 1 通称ダム道路へスノーシェットの設置は 2 5月連休中における中津川地区住民の通行確保は 町長：県に対して継続的に要望活動を行う



舟山政男議員

### ●恒久的な雪崩対策

### スノーシェットの設置は

**質問** 通称ダム道路が今年また通行止めになった。この道路は、中津川地区住民の生活道路であり、他所から来られる方の観光道路である。安全に、安心して年間を通じて利用することが望まれる。今回の雪崩発生個所の前後に、スノーシェットが設けられている。これをつないで一本のスノーシェットにすることは。

### 県に対して継続的に要望活動を行う

町長 通称ダム道路はここ数年、雪崩、施



雪崩で通行止めになった通称ダム道路

に対して雪崩等対策の早期実現に向け、継続的に要望活動を行っている。

雪崩対策にはスノー

設の老朽化を原因とする交通制限が頻繁に行なわれ、そのたびに、中津川地区から川西町玉庭地区を経由する菅沼峠を迂回路として利用せざるを得なかった。年間を通じ安全に、また、安心して利用する重要な路線となっている。町としても、県

シエットの区間延長が非常に有効な対策と思われるので、それらを含め、改修要望を行っていく。

また、菅沼峠の拡幅や視距改良など、快適な代替路の確保も重要な対策である。『主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備促進期成同盟会』

**質問** 連休期間中、中津川に多くの方が訪れ、普段に無い交通渋滞となっている。

### ●連休期間の交通渋滞による影響緩和は

### 連休期間の交通渋滞

九才峠を利用することもあるが、源流の森施設から、町道「須郷広河原線」へ接続する区間の、町道「須郷上原線」に続く「ダム管理用道路」の活用、さらに、中津川橋の右岸に出る「小坂林道」を活用することは。

### 住民に支障が出ないようにする

町長 通行止めとなっている両路線は、費用対効果が低いと考えら

や、中津川地区、川西町玉庭地区の方々と連携を密にしながら、要望活動を強化していく。

渋滞に関しては通年的に発生するものではないことから、連休期間中の渋滞を緩和するため、関係者による対策検討会において、情報を共有し、中津川地区住民生活に支障が出ないよう次年度以降の対策強化につなげていく。(本人執筆)



通行止めとなっている「須郷上原線」と「ダム管理用道路」

一般質問

# 高齢者に優しいまちづくりに更なる支援を

## 町長：高齢世帯等の除雪支援、移動支援は最優先で解決すべき課題



屋嶋雅一 議員

●除雪支援

高齢世帯へ更なる除雪支援が必要

**質問** 現在の町の支援では、まだ高齢世帯の負担が大きい。業者への支払いや道路から玄関までの除雪など、更なる支援が必要では。

地域ぐるみの持続可能な共助組織が必要

**町長** 専門業者に依頼すれば安心安全に除雪してもらえ、高齢世帯にとっては多額の費用負担が伴い、また専門業者側は担い手不足により、きめ細かな宅内除雪に対応できないのが現状。最優先で解決すべき課題で、まちづくりセンターと連

既存の組織の活用も

携し地域ぐるみの持続可能な共助組織が必要。

再質問 新たな共助組織の構築も大事だが、

既存の組織である自主防災組織や消防団、企業の従業員のボランティアなどの共助も大きい。そうした団体への協力の呼びかけも必要と思うが。

新しい共助組織の創造も視野に検討



共助組織による除雪支援

**町長** 条件や環境の違いはあるが、声かけは可能である。今後は、新しい共助組織の創造も視野に、今期に間に合うよう様々な課題に取り組み、準備を進めたい。

●移動支援

ほほえみカー料金の負担軽減を

**質問** 現在のほほえみカーの利用料金は、高齢者にとっては高額である。利用料金を見直し、負担軽減が必要。また、障害者に対しての割引料金を4級まで対象とできないか。

福祉事業として維持すれば可能

**副町長** 現在、中津川から長井エリアまでの料金は片道800円で、年金受給者にとっては非常に厳しい。200

円下げたとして、町の負担は300万円〜400万円である。福祉事業として維持していくのであれば、料金を下げて、運転免許証の返納促進や交通事故防止とした政策として考えられる。

運行経路の見直しを

**質問** 高齢者からの要望で、ほほえみカーの運行経路を、公立置賜病院の南側の個人医院や商業施設で乗り降りできるようにとの声がある。飯豊町の利用者も多いことから、見直しが必要では。

運行委員会で協議

**副町長** その要望が多いことは承知している。見直しには陸運局の許可が必要になる。運行委員会で協議する。

●高齢者の居場所

高齢者と子供たちの交流を

**質問** 高齢者にとつての健康でいられる居場所づくりや、子供たちにとつての生涯学習を考えれば、もっと交流が必要。

今後も支援を続ける

**教育長** 令和3年度からコミュニティスクールを導入し、高齢者の知恵や経験を活用できる事業について話し合っている。今後も交流を通じ若い世代に引き継がれていくよう支援する。  
(本人執筆)



高齢者の足のほほえみカー



一般質問

# 認定こども園に教育環境（ICT環境）の整備を 教育長：ICT機器の活用方法を検討



かわさき ゆうじろう  
川崎 祐次郎 議員

### 幼児教育の重要性と 教育環境の充実を

**質問** 令和8年4月から「施設分散型の義務教育学校」が開校される。義務教育学校は、

町内2つの幼保連携型認定こども園も含んだものであり、幼児教育の重要性を認識した将来構想となっている。

現在、タブレット端末を使用したGIGAスクールが小・中学校において開始されている中、円滑に小学校へ進学できるように認定こども園にもICT環境の整備を提案したい。

### 幼児期は人間関係 や感性を育む時期

**教育長** 幼児期の教育は、基本的な生活習慣

や態度を育て、道徳性や学習意欲、好奇心や探求心を養い、創造性を豊かにするなど小学校以降における生きる力や人間形成の基礎を培う重要な時期である。

幼児期にタブレット端末の正しい使い方を教える意義は感じる。

今後は、各こども園におけるICT機器の活用方法について検討する。

### 高校におけるGIGAスクール構想 の実現と支援策は

**質問** 令和3年4月に始まったGIGAスクール構想の開始年度に

中学一年生だった生徒が来年春に高校に進学する。

文部科学省は、全て

の高校生に共通の必修科目「情報I」でプログラミング等を学習させるとしている。

高校では、公立・私立高校の別や学習内容が異なることから一人一台の端末の整備にバラツキが生じていると聞く。義務教育課程と同様に各自自治体においてデジタル田園都市国家構想の一つであるGIGAスクール構想の実現に支援が必要なのではないか。

### 県立高校で実施、 私立高校でも取り 組みが進行中

**教育長** 県立高校では令和4年4月から概ね1人1台の端末を使用

しての学習が開始されており、整備率は約95パーセントである。

全体的には整備に多少のバラツキがある状況のようだが、置賜地域の私立高校では環境

整備や学習の取り組みが進んでいる様子だ。教育委員会としてはICTを利用した学習が途切れず継続性のあるものになるよう児童生徒のレベル向上に努める。

### 新潟山形南部連絡道路の整備と主要地方 道とのアクセスは

**質問** 国は、本年3月

31日に新潟山形南部連絡道路（小国～飯豊間）の整備に関して概略ルート及び構造の検討を進める、いわゆる「計画段階評価に入る」と発表した。飯豊町にとつて非常に大きな前進であり、喜ばしいニュースである。

国道113号は、日本海側と太平洋側を結ぶ路線であり、東日本大震災時には、その重要性が再認識された道路である。今後、新潟山形南部連絡道路（小

国～飯豊間）の整備に当たり、主要地方道米沢飯豊線（通称タム道路）や主要地方道長井飯豊線へのアクセス、町内の商工観光振興を考えスマートインターが必要ない地点等を検討し、国へ強く働きかけをすべきと考えるが。

### 重要課題として国や 県と密接な連携を

**町長** 計画段階評価の予算確保の報道があった。準備段階から積極的に関わり、町民の方々の意見がより良い形で実現できるように努める。主要地方道（県道）の各路線へのアクセスや社会インフラの整備も合わせて検討する必要がある。課題となっているダム道路や菅沼峠の整備は、国道とのネットワーク上、重要な路線となるため、合わせて強く要望していきたい。（本人執筆）

# 山間地の農地復旧復興を進める対応は 町長：地域計画を策定し協議を進める



高橋 亨一 議員

## 今年度の農地復旧の予定は

【質問】 昨年8月の豪雨から10カ月が過ぎ、被害の復旧復興が順調に進んでいる。残されている農地等の復旧は、

## 農地等災害自力復旧支援事業で

町長 町全体で326haの被害の内、復旧率85%、278haの農地が復旧した。

特に大きく被災を受けた萩生川沿い13・7ha、黒沢平田沢付近5ha、椿松の下沢付近2・6ha、小白川沿いの農地17・1haや添川上代付近で2・8ha、その他合わせて48・5haの農地は、国の災害復旧

事業で、令和6年から

の作付け可能となるように復旧を進めていく。

本年度作付け不可能な農地は、一定の追加

支援が必要と判断している。

## 被災地域の営農計画は

【質問】 豪雨災害により

営農意欲を失った農家が多くいる。復旧だけでなくソフト面の支援が必要では。

## 営農計画が重要

町長 災害復旧事業では、休耕田や自己保全等の転作地等が、災害復旧事業対象から外れるため、作付け営農計画が重要である。

県では、「山形農地リフレッシュ&アクション事業」を創設し、再生利用の推進を進め



【流出した農地（大平）】



【平田沢地内の被災田】

ている。

今後は、地域計画を策定し、どのように農地を利用して行くか協議しながら進めていく。

## 植林対策は

【質問】 森林には、山地からの土砂流出をくい止める機能がある。今回の豪雨災害を機に松くい、ナラ枯対策を含めた植林を強化すべきでは。

## 山林所有者と財産区と話し合いで

町長 被害を受けた松やナラの木は移動せず伐倒燻蒸処理を施しており、今回の豪雨により多くの流木が農地に流れ込んだ。被害木伐倒跡地の植林は、森林の治山効果に重要な対策である。山林所有者、財産区関係者と話し合いながら計画していく。

(本人執筆)



# 開塾します いいで希望塾

## 総務文教常任委員会

### 各課からの報告

#### ◆いいで希望塾を開塾

・ 中学1・2年生  
期間  
7月30日～3月10日  
・ 中学3年生  
期間  
7月30日～3月3日  
どちらも科目は数学と英語で回数は計20回の開塾となる。

・ 小学6年生

科目は算数と英語で3月下旬(春休み中)3回程度開塾する。

#### ◆いいで子ども大学

8月8日～9日において子ども大学を開催する。内容は大学キャンパス見学や各地区の産業巡りなどで対象は小学3年生以上で30名程度を予定。

(教育委員会)

#### ◆町民総合センター

大規模改修の状況  
5月末時点での工事進捗状況は52・7%で8月中旬頃に1階のトイレを除き完了予定。会議室や図書室の利用再開を予定。

(町民総合センター)

#### ◆二十歳のつどい

8月15日に「令和5年度 飯豊町二十歳のつどい」を開催予定。今年度対象者は62名でコロナ禍以前の内容で式典を行う予定。

#### ◆めざみの里まつり

町民総合センター大規模改修に伴い、会場を変更して開催予定。日時、内容等は実施本部会議で協議する。

(社会教育課)

### 質問と答弁

#### ●天養寺観音堂の再建の現況は

遠藤委員 再建までの今後の計画と財源はどのように進めるのか。

#### 社会教育課長

令和5年度は昨年度解体した部材の調査を行う。令和6年度は調査の結果を経て足りない部材の調達を行う。令和7年度は組立て再築を計画している。

財源は県が7割、町が3割負担となり9月まで県に見積もりを報告予定。

#### ●しらすぎ荘チップボイラーの状況は

古山委員 しらすぎ荘チップボイラーの稼働状況と経費削減効果はどのように見込んでいるか。

#### 企画課長

5月8日から本稼働を開始し。町と地域振興公社と飯豊バイオマスの三者で15年間、年2200万円を契約した。経費削減効果は灯油ボイラーと比較し、年間100万円～300万円を見込んでいる。

#### ●いいで希望塾の見通しは

菅野委員 今年度の入塾希望者の見込みと入塾者への支援策は。

#### 教育委員会

こども塾は9年目となり入塾者は減少傾向。特に中学2年生が部活動との関係もあり減少傾向にある。今年度の対象者は154人で半数以上を見込んでいる。受講料を無料とし、他の支援策は特に無い。

#### ●土・日の部活動状況は

高橋(亨)委員 働き方改革の取組みにより、現在の部活動の状況は教育長 現在中学校は土・日のどちらか1日と、水曜日の部活動を休みとしている。教職員の負担軽減のため、部活動指導の地域移行を進めており、関係団体と話し合いをしている。

#### ●ふるさと納税返礼品の業者選定は

後藤委員 業者選定方法はと選定業者数は。企画課長 3月に次年度分の説明会を開催し申請受付後に審査会を開催し決定している。現在、選定業者数は25登録品目は159品目となっている。

# 農地災害復旧が進む

## 産業厚生常任委員会

### 請願審査について

◆**食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願を採択すべきものとした**

### 各課からの報告

◆**農地災工事状況と森林育成事業**

- ・工事完了8件、二反田水路等
- ・仮復旧5件、寺分堰水路等
- ・工事中は小白川
- ・未発注は坪沼水路となっている。

6月17日～18日、4年ぶりにNXグループ(旧日本通運)の森林育成事業が、10組、32名の参加で開催された。4年ぶりに「黒べこまつり」をどんでん平ゆり園で開催する。  
(農林振興課)

◆**電池バレー構想**  
6月9日『電動モビ

リティ地域共創コンソーシアム』を専門職大、山形県、飯豊町の三者で設立した。記念講演会を7月8日に予定。  
屋台村は今秋再開する予定。

(商工観光課)

### ◆住宅リフォーム

住宅等小規模リフォーム支援事業の実施について、予算額400万円、補助率は対象工事の20%で限度額は20万円となっている。

(地域整備課)

### ◆中津川診療所におけるオンライン診療

人口減少と医師不足により、置賜総合病院と中津川診療所が通信回線で結ばれ、7月下旬よりオンライン診療となる予定。

(国保診療所)

### 質問と答弁

#### ●土木作業従事者の安全管理は

屋嶋委員 豪雨災害復旧工事における働く人の安全管理を図ることについては。  
**地域整備課長** 直接の指導はできないが、業者に対して安全管理徹底を図る。

#### ●介護現場の人材不足については

**舟山委員** 介護職における人材不足についての捉え方は。  
**健康福祉課長** 施設より相談を受けている。急な対応は難しいが、関係機関と対応を取りながら増員の検討をしている。

#### ●小規模住宅リフォームは

**高橋(亨)委員** 事業はどのような内容か、件

数は。

**地域整備課長** 住宅の小規模な修繕に対応する補助金で全家屋が対象となる。20件～30件の申請を想定している。6月定例会の補正予算で対応する。

#### ●オンライン診療は

**古山委員** 中津川診療所で行うオンライン診療に対応する医師はどうか。

**診療所事務所長** 現在中津川診療所に勤務している医師対応。

●**砂防対策については**  
**菅野委員** 治山・治水対策のための砂防工事の必要性は。  
**町長** 昨年8月の災害に鑑み今後、治山・治水、砂防対策に取り組む必要がある。国、県の支援を受けながら治山・治水事業をすすめていきたい。



オンライン診療となる中津川診療所



# 電池バレー構想の現在地は。「新産業集積、交流人口拡大、雇用創出、人材育成」の成果は

## 特集：「飯豊電池バレー構想」に関する特別委員会報告書（概要）

### 事業の進捗状況

#### ●飯豊町起業支援施設

町は、令和4年12月からは赤門学院に、同施設床面積の約88%を無償で貸し付けを行い、残りの約12%を飯豊電池研究所が使用しており、使用料126万円を町に支払うことになっている。しかし、年間使用料は、施設建設当時に山形大学と締結した使用料1,000万円と比較すると、町は874万円の歳入減となっている。

#### ●貸工場

委員会は再三にわたリセパレーターデザイン株式会社（以下SD社という）と町に、早期の操業開始と貸工場賃借借契約（覚書）の締

結を要請してきた。しかし、令和5年6月のSD社の回答では、今後のスケジュールを示せないということである。町はSD社が使用する可能性を残しながら、他社誘致に取り組み、令和4年8月にSD社に言い渡した。その後町は、貸工場の視察対応や誘致交渉に努めている。

計画しているとのことだが、今後の関わり方について注視していく必要がある。

### 関連事業

主要な関連事業は「屋台村建設・運営事業」、飯豊電池研究所やSD社等への「業務交流促進・人材育成業務委託」等である。令和4年3月議会において付帯決議した「飯豊電池バレー人材育成事業業務委託」については、多額の費用に対する成果が問われており、今後、町に詳しい報告を求めていく。

●電動モビリティシステム専門職大学  
今年度は3名の入学者で開学した。同大は来春の入学者確保について、指定校推薦制度を強化するほか、自動車関連メーカー社員のリスキリング（学び直し）による受験の働きかけを行い、町は新たな奨学金制度の創設を

イオン電池の技術開発を通じて、「新産業の集積、交流人口の拡大、雇用の創出、人材育成」を目指す本町の重要な事業である。しかし貸工場においては、債務返還の財源であるSD社からの使用料が見込めない現状であり、町の歳入減が生じている。さらに未使用工場における維持管理経費の財源確保、新たな企業誘致が発生した場合の施設改修費用など課題が残るため、SD社の道義的責任は重い。

また未契約のまま事業着手せざる得なかった状況は、望ましいものではない。今後、なお一層の早期の操業開始と賃貸借契約（覚書）の締結に向けて努力す

### 継続して注視する

町は、平成25年に「飯豊電池バレー構想」を立ち上げた。リチウム

べきである。

上記のとおり、構想全体の進捗状況が「目標到達と言える状態ではない」と委員会としての結論に至った。改めて、電池バレー構想の到達点に関係者で再認識し、町民に理解が得られるよう、町と議会がそれぞれの立場で説明責任を果たしていかなければならない。以上のことから今後の事業展開については「継続して注視していく」とすることとする。

詳しくは町HPをご覧ください



# コロナ禍と豪雨災害 町議会4年間を振り返る

飯豊町議会では、議会だよりを年4回発行し、議会や議員の活動をお知らせしてまいりました。8月に現在の議員の任期が満了するため、この4年間の議会活動と町の動きをまとめました。

## 令和元々2年度 コロナウイルス

- 令和19年7月24日 10名の議員が誕生
- 議長菅野富士雄、副議長遠藤忠議員に決定
- 世界中に**コロナウイルス**が蔓延し、日常生活にも影響する
- 3月で**手ノ子幼稚園**閉園となる

## 令和2々3年度 政治倫理審査会

- 電池バレー構想から山形大学が撤退
- コロナウイルス対策 町独自事業で支援
- 新型コロナウイルス ワクチン接種はじまる
- 7月**豪雨**で被害
- 中津川橋ケーブル腐食により3カ月間通行止め



町の課題を  
出来る限り詳しく

- 町は2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指し**ゼロカーボンシティ宣言**を行う。
- 令和2年12月電池バレー**貸工場完成**
- 12月住民からコロナ関連農家用**持続化給付金**のサポートの件で、不適切な対応をしている議員がいるとの指摘があり、議会内に**政治倫理審査会**を設置。委員会では辞職勧告措置を議長に求めた。

## 令和3々4年度 特別委員会設置と 8・3豪雨災害

- 飯豊電池バレー構想**に関する**特別委員会**に関する**特別委員会**
- 新年度予算、電池バレー構想人材育成事業に関して付帯決議
- 全町小中学校でタブレット授業はじまる
- 5月、公営住宅の改

- 修工事予算案否決
- 8・3豪雨災害** 羽越水害を超える被害 復旧費用約70億円
- 米坂線今泉々坂町間** 運休となる。復旧まで代替バス運行。

## 令和4々5年度 女性との懇談会

- 第三セクター指定管理委託料決定の際、経営改善の付帯決議
- インバウンド(海外観光客誘致)再開
- 議会と女性との懇談会**開催 16名参加
- 4月電動モビリティ**専門職大学開学**
- 飯豊電池バレー構想 特別委員会報告
- タブレットによるペーパーレス議会へ
- 令和5年3月で**添川児童センター閉館**
- 令和5年5月、コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行

## 編集後記

豪雨災害はじめ、様々な出来事があった4年間でした。読んでもらえる『議会だより』をめざして取り組んできましたが、今号で一区切りとなりました。取材等これまでのご協力に感謝申し上げます。(舟山 記)

### 発行責任者

議長 菅野富士雄  
発行 長 菅野富士雄

副委員長 舟山 政男

委員長 遠藤 芳昭

委員 後藤 恵一郎

委員 川崎 祐次郎

委員 屋嶋 雅一

委員 高橋 勝



ご愛読ありがとうございました  
広報公聴委員一同